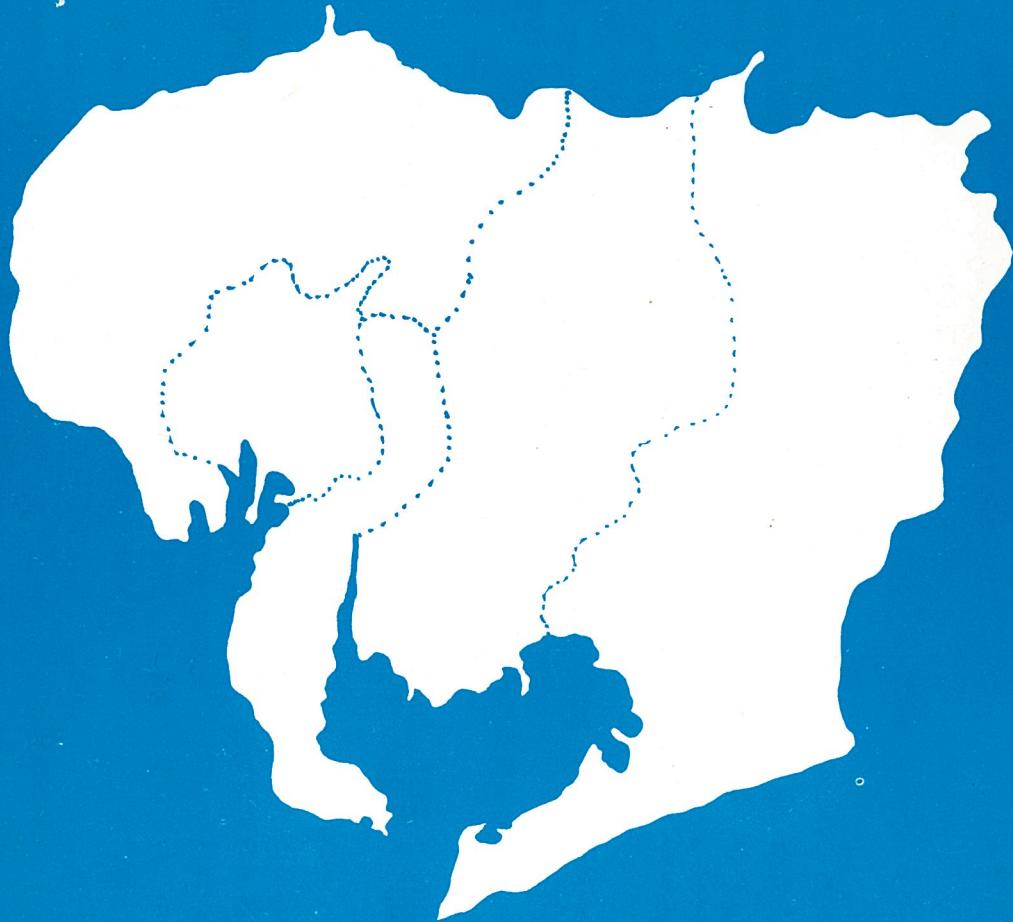


観の眼



目次

巻頭言	2	全日本少年剣道個人錬成大会に優勝して	19
足立純三先生回顧録	3	範士紹介	19
剣道審判規則の一部改正と 杖道試合・審判規則について	5	隨想	20
公認審判員制について	8	事業報告抜粋	20
剣道の訓（その2）	10	事業計画及び要領	21
全国教職員剣道大会	17	段位及び形審査会要項	21
中学校日本一の栄冠に水田涉先生		地区連盟紹介	22
インターハイに出場して	18	昭和56、57年度役員名簿	27
		編集後記	28

第4号



愛知県剣道連盟

名古屋オリンピックの招致は失敗に終り、一九八八年の第二回オリンピック夏季大会開催地は韓国のソウルに決定になりました今更敗因を模索すること別としまして、東海地方が国際化を目指し、一致団結して努力したこと大きな意義があり、将来にとつて大きなプラスであったと確信するとともに、同じアジアの一員であるソウルにおいて立派なオリンピックが開催されるよう祈念する次第であります。

今日、日本は「世界の優等生」であるといわれています。これはここ数年世界の各国がエネルギー危機によって、インフレや不況に悩む中で、わが国が比較的うまく石油危機を乗り切り、世界で一番優れた経済状態を保ち、欧米諸国がこの点に大きな関心を寄せていることを端的に示した言葉であります。欧米の経営者達は、この日本の好調の原因が何であるかをつきとめ、これに学ぼうとしているのです。

この優れた日本の経営の根元は、日本人の思想、広くいえば東洋の思想にあることはいうまでもありません。東洋の思想は、自然と人間社会への調和を基調としており、全体と個との調和を図り、自分の欲望を自制し、自然と人間社会とが許す限りのところで精神的な満足を求める

ことではありません。日本人に喜ぶことはできません。日本は対する賛辞は、これを手放しで今日、財政破綻の危機、国際経済摩擦、防衛問題等幾多の難問

なりません。私達は自分の修業の傍ら青少年の健全育成という大きな責任があることを忘れてはならないと思います。

この事は、やがて日本好況の原動力である日本の経営の消失にもつながるものであり、今こそ東洋的思想の原点にかえることが必要ではないでしょうか。

これは何も難しい古事をひもとくことを必要としません。

若い人達は先人の跡を謙虚に学ぶことであり、先輩は自信をもつて実践垂範し、若い人々を感化することであり、これこそ

剑の道そのものに素直に従うことであろうかと思思います。

本連盟においても来年は創設三十周年を迎えます。これを一つの節目として、剣を通して日本人の「心」を若い世代に引きついでゆきたいものと思います。願わくば各位の一層のご努力を祈念してやみません。

私達の修練している剣道についても、ややもすると修業の道程であるはずの称号段位の取得を最大目標と思い違いしている人も見受けられますが、本来自然との一体感、自然の理にかなうことが修業の目的でなければなりません。

最近の日本人、とりわけ若い人達は物質主義の欧米文化にかぶれ、誤った個人主義的思想に染まりつつあり、東洋思想を自ら反古にしようとしているかに思えます。

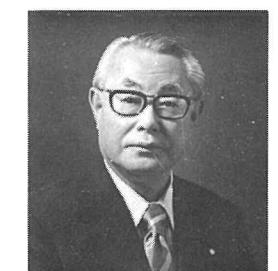
この文章は昭和四十七年、全日本剣道連盟創立三十周年記念「現代剣道百家巻」に寄稿されたものです。

卷頭言

愛知県剣道連盟

会長 竹田弘太郎

今日、日本は「世界の優等生」であるといわれています。これはここ数年世界の各国がエネルギー危機によって、インフレや不況に悩む中で、わが国が比較的うまく石油危機を乗り切り、



範士八段 足立純三先生遺文

思師の言葉



足立純三先生遺文

剣を学んで七十年余、歳まさに八十を数えて今尚剣を手にして道に奉仕できる喜びを感受しつつ、剣道を老後の伴侣として余生を楽しんで居ります。

小生も若い修業時代には、血気にはやつて随分と力まかせの無理な稽古をしたものでしたが、何時も先生からお注意があつて、余り力に頼り過ぎると、若いうちはよいが体力には自ら限度があつて年と共に低下し、それに伴つて実力も又落ちるものである。技には限界がないので、修練を積むに従つて練磨され、益々技は冴えて技は年をとることはないもの

である。と懇々と将来について有難いお諭しのお言葉をいただいてからは、堅く教えを守つて専心技の修練に心血をそいで努力してまいりました。お陰で老齢の今日でも未だに稽古をつづけて居られるのも、これもみな恩師の有難いお教訓の賜と感謝の念を新たにして居る次第であります。

今、永い修業のあとを振り返つて見ますと、剣道の歩みにも色々と糺曲折はありましたが、なんといつても、我々剣道にたずさわる者にとって一番衝撃をうけたのは、進駐軍の占領政策によつて我々が多年剣道



昭和30年 第2回中部管区警察柔剣道大会

を修業した思い出の武徳会が解散の憂目に遇い、剣道も全面的に禁止されたことで、光輝ある歴史と伝統を誇る日本古来の剣道も一時は絶滅の危機に瀕し、撲殺競技によって幸うじて一縷の命脈を保つたものの、誠に憂慮に堪えないものがありました。幸いにも講和条約の締結によって予期以上に早く禁止が解かれ、平和的剣道、人間形成の道として新らしい構想の下に全日本剣道連盟が発足して以来、急速な進歩を遂げ今日では戦前に倍する盛況を見るに至り、国内はもとより海外にまで発展して居ります。記念すべき連盟発足二十年を迎えて、愈々世界的剣道たる日の近きを確信して、益々連盟の隆昌发展を祈念して止みません。

この文章は昭和四十七年、全日本剣道連盟創立三十周年記念「現代剣道百家巻」に寄稿されたものです。

足立純三先生の想い出

副会長 太田元次

私が先生の御名前を知ったのは、たしか昭和五年である。当時旧八高の師範であつた門奈範士が亡くなられ、後任はどうなるかと我々中学生の間でも取汰沙されていた。その時故浅井季信先生が旧一中道場で我々中の選手に言われた。「八高へ足立純三さんが決つたよ」と。同年私は名古屋の地を去つたため先生のことは忘れていた。

昭和九年私は名大に入学し剣道部に入った。当時「東海学生剣道連盟」の世話を名大が担当し村上氏広氏、故織家実氏(共に一中出身)等が色々手伝つていたので自然足立先生とも知合いになつていただいた。そして名大の剣道部の年間行事の第一として中等学校剣道大会を主催していく。これは名大の前身である愛知医大當時同大学の予科剣道部から受け継がれたもので、勝負は5人の点取り試合であった。私が名大に入った

て返事が無かつたので、主催者としては不満足ではあるがやむを得ないとして、同師範欠場のままプログラムを作つた。岡崎師範は赤胴で丈の高い主将が居たがその英姿が見られないのは残念だと私は思つていた。

ところが大会開催まじかに、突然足立先生が名大を来訪され、学生課へ私は呼び出しを受けた。その時先生は、鄭重に「学校側の手違いで試合の申込みが出来ず、改めて其を詫びると共に是非出場させて欲しい。」と頭を下げて私に懇願された。私はそれ迄の経過を話し先生の申し出を



昭和39年3月 竜ヶ池にて名大剣道部一同と

一蹴した。何度言わても頑強に拒みつづけた。遂に見兼ねた学生課の花木と言う名物課員等が私をなだめにかかった。そこでどうとう頑固な私も折れて、出場申込書を受取つた。私はその時の先生の嬉しそうな顔を刷り直しをしたり他の部員に経過を

みで自分も少々頑張り過ぎたわいと思つた。その時の先生のお顔を今でも覚えている。その後プログラムの書を近県へ発送した。集つた参加申込書を見たところ一中、明倫中、愛知一師、東邦商、京都師範、八幡商(滋賀)、北陽商(大阪)等の強豪の名は在つたが愛知県の雄の一である岡崎師範の名が見当らない。そこで念のため同校へ照会したが依然として返事が無かつたので、主催者としては不満足ではあるがやむを得ないとして、同師範欠場のままプログラムを作つた。岡崎師範は赤胴で丈の高い主将が居たがその英姿が見られないのは残念だと私は思つていた。

そこが大会開催まじかに、突然足立先生が名大を来訪され、学生課へ私は呼び出しを受けた。その時先生は、鄭重に「学校側の手違いで試合の申込みが出来ず、改めて其を詫びると共に是非出場させて欲しい。」と頭を下げて私に懇願された。私はそれ迄の経過を話し先生の申し出を

説明して了解して貰つたり忙しい目をした。

試合の日、私は岡崎師範の赤胴選手をひそかに声援した。——残念ながらその時の優勝校は同校ではなかつたが――。

故足立純三範士

三輪田 薫

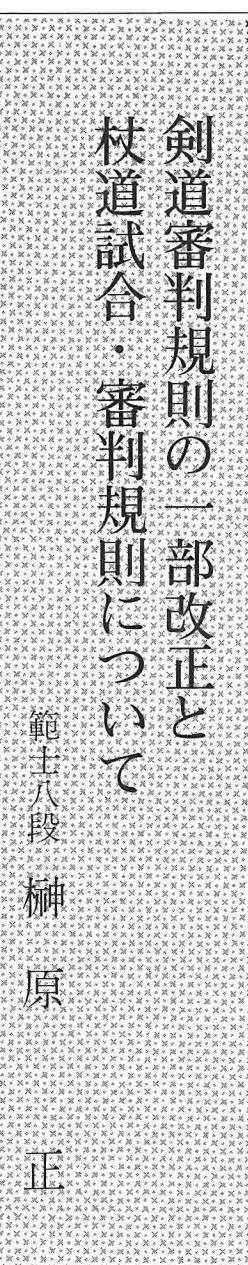
先生は明治二十六年五月二十六日茨城県東茨城郡小川町(現小川市)で誕生された。生地は霞ヶ浦東北に接する山紫水明の地で、水戸藩に属していた。水戸藩は周知の如く徳川親藩の中には尊皇思想の厚い水戸学を創始すると共に歴代藩主自身が武道を奨励研鑽した雄藩である。



昭和39年3月 竜ヶ池にて名大剣道部一同と

た近衛師団の一員として入隊をされたことによつてその堅実な生家の家風を知ることが出来る。

この兵隊時代、即ち大正四年二月二日恩賜紀念銀杯一個を御下賜された。これは剣道の成績抜群にて優勝をされた故による、その青年時代の卓抜せる劍士としての様相がうかがわれる。大正八年剣道に立つ氣概



大正八年二月十二日旧制第八高等学校に、又昭和七年十一月五日岡崎師範に剣道師範として奉職されている。戦後は名古屋大学、県スポーツ会館、その他の学校道場で通算半世紀五十年

余にわたつて指導薰陶された。

以上の剣道史は又、先生の人格形成の上に極めて大いなる影響を与えた。即ち次代を担う優秀な青年への尊敬と正邪を極めて明確に分け得る

判斷の正しさは剣道によるところが大きいい。そして昭和四十二年十一月三日勲六等単光旭日章受賞の栄誉に浴された。功成り名を遂げて昭和五十一年十月二十七日卒然として他界された。「湛堂明然居士」謹んで御冥福をお祈りする次第であります。

剣道審判規則の一部改正と 剣道試合・審判規則について

一部改正について

(10) 剣道審判規則第五条

(9) 旗の表示の仕方

ク 双方共に一本を取り、しか

も二回目の反則を双方同時に犯した場合……両旗を前下で振る。

チ 双方共に一本を取り、しか

も二回目の反則を双方同時に犯した場合……双方反則二回につき……相殺。

ツ 試合繼續を拒み、試合中止

を申し出た場合……試合拒否につき……勝負あり。

テ 試合不能の場合……試合不能につき……勝負あり。

(チをトに訂正)

一、引き揚げについて

打突に伴う余勢を、必要最少限におさえる。

例え打突後、走り込む等の行動に出たものは、場外反則とする。

(故意とは、自分に不利な状態を転換するためのすべての行為をいう)



昭和31年 2府2県大会(於神戸)
右より成田・浅野・足立・朝倉各先生

をこめて、当時最高の名門「大日本武徳会武道教師養成所」の剣道部を優秀な成績で御卒業になり、大正十一年一月八日には愛知県武術教師嘱託として、三十才で愛知県警武道教授に就任、師範として昭和三十八年四月十五日に依頼退職された。昭和四十年四月二十一日には愛知県名譽

公認審判員制について

範士八段 谷 燭吉郎



◎公認審判の必要性について

愛知県剣道連盟では今年度から公認審判員制を探り、公認審判員を任命して剣道大会は、主として公認審判員が審判にあたることになりました。このことは剣道審判に対する認識と審判の適確、公正を期するためであろうと思います。

剣道の審判の諸問題について、そ
の適正・公平化を計るために従来か
ら種々の処置が採られてきました。
例えば審判員の数にしても、一人
制、二人制、そして三人制とかわり
ルールにしても、出来るかぎり、剣
道の特性をふまえながら、スポーツ
的に、正確公平に運営されるように
規定されてまいりました。

然し剣道の審判は、剣道の高段者
がその任に当り、「審判は絶対であ
る」との申し合せ、又ルール的にも
「審判の判定に対し異議の申し立
ては出来ない」ということが条文と
してあるので、審判技術の点につい
て、研究・向上の努力が不足してい

大日本文化

審判は絶対的なものであり、判定に対する異議の申し立ては出来ないのは当然であるので、この項については問題はないと思いますが、審判は高段者又は先輩が当たる為、たとえ誤審があつても表面化されることなく、又審判員もこの条項を盾として自己の審判のあまり反省し、努力研究する事が少かつたようになります。

剣道審判は高段者が審判を務めますが、その性格が異なるものであつて、高段者が必ずしもよい審判が出来るとは云えないと思います。高段者は剣道試合の勝敗を判定するのにもっとも高度な要素をもつている人であります。剣道をやらない人でも研究と訓練と経験により、高段者より以上の所謂「見る眼」を持つことが出来ると思われます。最近少年剣道が盛んになりましたが、少年試合も数多く開催され、父兄達が剣道に対する「見る眼」で、審判に対する批評がより出来て、審判に対する批評がより

確実性(強さ)という剣道の『斬る』という技術的なものの二つから有効打突即ち一本の条件がつくられていくと思ひます。

「充実した気勢」、「適法な姿勢」という精神的な、特性的なものが、勝敗の要素になつてゐることは他のスポーツにみられない剣道のルールの特徴であり、剣道は「先を尊ぶ」という教え、又剣道の正しい姿勢、節度ある態度、或はそれを通じて得られる礼節等、剣道の特性が剣道の判定の要素の中に意味づけられ、このことが剣道の人間教育である特性となつてゐるのだと思います。したがつてこの条件を正しく判定することは剣道の方向づけを正しくし、又価値づけるために、大切な事になつてくることだと思います。

◎有効打突の判定について
有効打突の正しい判定は現象面については「眼でみる」ことである。内容（精神）面については剣道技術の能力から判定又は判断することが必要であります。

見える位置とは、主審を

ると思われます。「打突部」について
は竹刀の弦の反対側ということは刀
の物打と刃部ということであり、「打
突部」とは頭部、咽喉部、腕部であ
り、もつとも急所であり、その部位
を斬ることはもつとも効果的である
ということになると思います。

て三人の審判がそれぞれ正しく見え
る位置に移動することが大切であります。移動する為に姿勢をくずしたり、こせこせと移動するのはよくな
いことであつて、試合者の移動の方
向を前もつて察知して、試合者の動
きにおくれないようになることが大
切であります。

私の高師時代の大先生であり 現代
剣道の剣聖である高野佐三郎先生が
が審判をされるのを拝見した事があり
ますが先生は、試合者が打突する
前にもう手があがつていたのを思い
出しますが、攻防の理合、打突の機会

◎審判の任務

(◎審判の任務について)
剣道の審判は試合の勝敗を決定するためのもので、剣道の勝敗の多くは有効打突によって決定されます。したがって有効打突の判定が審判員の任務のもつとも重要なものです。

正しく確実に有効打突の判定が出来るか否かということがよい審判か否かの決定条件であります。したがつて審判として第一に有効打突の要素を知りその要素にもとづいて正しい判断をすることが大切でありますよう。

有効打突とは試合ルールによれば
『充実した気勢で適法な姿勢をもつて
竹刀の打突部で打突部位を正確に
打突したものとする』とあります。
これは『充実した気勢』『適法な姿勢』
という精神的な、格式的なものと
『竹刀の打突部』と『打突部位』と

竹ノ内先生の書評

の理から考えれば、この処置は出来
るわけでして先生の修練の深さを感じ
られます。

審判の実際に当つて打突があつたとき、まず眼で見て打突方法、打突部位に当つているかどうか、又強度はどうかというように感じ、若し判定がつかなければ、理合を考え、剣道の特性を含めて判断をすべきであります。

審判員が知つておかなければならぬことですが、其の他審判員として「ルール」的に有効になる場合であります。

◎試合の運営について

例えは「倒れた場合」「場外へ出た瞬間」「時間満了と同時」「竹刀が身体についている場合」等の打突について有効打突の条件がそなわっていれば「一本」としなくてはなりません

審判員は「ルール」により正しく試合を運営する事も大切なことであります。反則の判断、試合の開始、中止等ルールできめられていることを敏速に、確実に処置することが必要であります。

「皆んな來い。」「皆んな出来るかね、面に來たら胴を打て絶対に勝てる、相手が出て来なければ飛びこんで面を打て……。」「そんなこといわれても出来ません。」「稽古がたらないから出来ないんだよ。」剣道とはそういうふうに何でも理屈は分かつていてつて出来ないでしよう。「行」が足りないからですよ。「行」が出来てくると今度は来るなという事が分るんですよ。

あの上州の高崎の殿様、松浦京之助そこに寺田宗有という人がいた。殿様は「お前もう一度江戸へ行つて一刀流の中西忠蔵について学んで来い。」というんです。その道場へ行くと素面、素甲手で形ばかり、中西忠蔵は甲手、面、の道具を発明した人ですから面白いですね。毎日寺田宗有は、形剣術ばっかり、それで弟子共が憤慨して「先生を一度たててやる、困ったもんだ」といつて師匠は「しかたがないからそれじやお願いしますよ。私は素面、素甲手で結構です。」素面、素甲手でやつたなら、なおいいからひどいめに合せてやる。ところが立合つて見ると、その先々を読まれ「面に來たらすりあげて打ちますよ」「甲手に來たら返えして突きますよ」弟子共は、その先

面白い話しがあるんですよ。樵が山に行つて木を切つていたところへさとりという怪獣が出て出た。この怪獣は珍らしい、つかまえてやろうと樵が思うと、怪獣曰く「お前さんは俺をつかまえようと思っているなー」と、心をいいあてられるんです。「心をいいあてられて、驚いているな」と、こう怪獣はいうんです。こまつたなあー。今度心を読まれたら殺してやろうと…。「殺すな」又殺そうと心を読まれて、樵は諦めるんです。諦めて無心で木を切つていると、その斧の先がぬけて飛んで怪獣に当つて怪獣は死んでしまうんです。それも無心になつたからですね。

剣道で一番邪魔するのは、その妄心というやつですよ剣道は、妄心をいかに克服するかということです。無心でなくちゃだめですよ。昔からあるでしよう剣道の四戒、剣術四戒、四つの戒め「恐」「懼」「疑」「惑」つて、あの人は強そうだなあ、もうそれが邪魔するんです。だからそうい

あいついやな野郎だなあと思う事が
あるでしよう。そういうふうに剣道
は万端に通ずる面白いものがあるん
ですよ。それを早くつかむか、つかま
ないかですよ。さっきの島田虎之助
なんか学問してそういう「心」とい
うものを学んだから、早くつかめた
んじやないかと思うんですね。それ
をつかむか、つかまないかは本人な
んですから、打合いに終始したつて
何の事ないんです。年取つたらもう
萎んじりますよ、益々豊にするも
のは何かというと「心」しかない。
そういうふうに剣道は最初は基礎
から入つて行くが後はもう自分で作

「先生、随分もてますが、何か極意
があるんですか？」と……。
「うん僕は無心だから……もてよう
と思つたらかまつたらだめですよ、
知らん顔しとかないと。」

「先生、随分もてますが、何か極意
があるんですか？」と……。

「うんうん」といつて、そうすると
別嬪の芸者なんか焦れて来るんですね
よ、「私がこんなに奇麗なのに、こ
の先生ちつとも構つてくれない。」先
生は「なあにそんなこと」つて、う
そぶいてるんですよ。芸者は益々焦
れて来るんですよ。……で私が聞い
たんですよ。

一刀流の開祖の伊藤一刀斎が、まだ鬼夜叉という若い時に、小太刀の鐘巻自斎という先生について習つていた。あるとき、師匠に「是非・試合」とお願いすると「なんだ若いくせに、師匠に試合なんか願つて」と叱られるんです。「たって剣の妙技を悟りましたからぜひお願ひいたします。」何回もせがまれて、「じゃあ、しかたがないお前とやってみよう。」それで勝負すると三回試合し三回とも師匠が負けるんですね。

「ほほーお前何を考えだしたんだ。」と聞くんです。「師匠が打とうとされるとき心は虚です。それに反し、私は自然の機能で危害をふせぎますから実です。実をもつて虚に対すれ

ば勝つのは当然でしょう。」というの
です。有名な言葉ですけど「睡中抓
ニ痒処」といつて睡眠中に痒いと
ころをかく、「蚊がきしたといつて足
が痒いのに頭をかく馬鹿はおりませ
ん。」というんです。意識せずとも痒い
ところをかく、これは人間に備わつ
た自然防禦の本体です。そうでしょ
う夢中で寝ていて足が痒いのに頭を
かく者は誰もいない。これは自然に
備わったものです。これは打つてや
ろうとか何とかいうよりこれが自然
なんです。これを証明するために目
の前にパツと指を出すと皆んな目を
閉じますよ。目を開けている者はい
ませんよ。それが自然なんですよ。
なかなか出来ないですが、打つてや



第5回 明治村剣道大会にて

剣道の訓

範士八段
玉利嘉章

観により判定しなければならない条項が多く、又理解出来難い個所もあり、審判として判断が出来難いといふことがあります。ルールの諸問題については反論も多くあります。この問題は別にして、審判員としては、その主旨を、又条文を研究し、研究経

◎ むすび
現在剣道は、非常に盛大になり、
剣道人口は飛躍的に多くなりました。
試合をする人は比較的若い人達で
あり、これから剣道を継承してゆく

人達であります。私達は正しい審判をして、若い人達に今後正しい剣道の実践と興味をもたせ、又観る人達にも理解と協力を与えることが大切な事であろうと思います。そして国技である剣道が、今後ますます盛んになるよう努力すべきであります

幸い公認審判員制がしかれ、審判についてより一層適確に、公正になるだろう事とは思いますが審判のあり方についてまとめてみました。この稿を書くにあたり三橋先生著「剣道」を参考にさせていただきました。

と思つても咲かない。春が来て春風がふくようになると花開く、青々と茂った青桐の葉は、どんな雨が降つたつてちやんとついてます。秋雨、秋の雨が枯れきつた青ざりの葉に、ボタツ、ボタツと落ちると自然に葉が落ちる。それはそこまで行かなくちやわからぬ。だからやつぱり数をかけてね。早くそういうのを摑むこと、明日からだつて、細田君だつて八段になるんだから、そういうもんですよ。剣道つていうものは。昔の人はね、そういう教えを受けたのですが、今はもうスピードの時代だし理屈でちやんと割り切つてるんだから、こういうふうに、〇、二二七がバイブルーションのノットだとね。それは体験からやるんでも、うちやんとできるんですから。それを自分のものに取り入れることですよ。だからもう考えひとつですよ。それには何がいるつて、やっぱり下地を作つておかんとね。だから苦労しないと観念はわかつても、今度は行が伴わないから。どんなえらそうなことを禪宗坊主が言つたつて、剣道をさせたら屁の河童、何でもないです。

剣道も大衆化して来たからお互いにね、にこやかにやるうちにひっぱり出さずにそのまま!! 今の剣道は、三菱ですか、年寄りには面ひものいろいろな色分けをしているんですね。七十以上とか、六十以上とかなんとか、打ち合いでそれから攻め合いということが、今、ないですね。攻めて勝つということがね、只ここで「イヤー」パンです。そこで攻めて相手の心を動かないうようにしたらい。今日、ちょっと拝見したら堀口先生にみんな攻められちゃつて間に入われちゃつて打つていかなくちや、ならんようになるでしょ。

ポンポンとやられちゃつて。もう彼もやがて、八十ですよ、どうして勝てないか? みんなそういうことをやってごらんなさい、この中部の剣道は変つきますよ。面白いものですよ。剣道はね人間まで変わりますからね。これが人間形成です。自分に克つことなんです。なにかねえ本当に、いろいろな天才が出てこないかと思つてるんですけどねえ。

そして昔の真剣つていうことがなくなつたからそれをいかにして、平和に転換するかってことが剣道ですかねえ、これですよ本願は。

この前もちよつと感じたんですが、

つていくんだな。子供なんかそうでね。あんまり難いことなんか言つたつて駄目ですね。

山岡先生なんか、最初は甘いものでしょ。あれが稽古に行くと、

一回五〇銭かいくら、ご褒美にやるんだそうです。それが欲しくてあの奴はついにあんなになつちやつたんです。最初はね、あんまり難しい事は言わずに興味をもたせてね。だから我々だつてそだもんね。昔、あの十銭か十五銭の立川文庫つてい

うこんな本があつたですよ。霧隠才蔵だとか、後藤又兵衛だとかね、あれを読んでやつぱり興味もつたんでもう打たれて痛いですね。汗臭いし、端に行つて水で濡らして夏なんか汗かいたようにして!! こちらは見つかつちやつて剣道の先生の爺さんにお説教喰つちやつて、そんなもんによ剣道つて。その学期で三人抜けば優待でね、甲だつたんですがねえ。そしたら三人抜いちやつたですよ。

期末の試験でね。試合させられて、

そうしたらもうひとりその島谷八十亜先生の兄さんがいたんです。指宿良といつて、これは人を一人切つてるんですよね。自分を呼んで、おまえ

筋がいいからやれと言つて、名前は何つていうんの誉めてくれんですよ。そんなもんですね子供の時はね、だから何でもそですよ興味をもたすことですよ。



竹田会長と歓談中の玉利先生

だから頭ごなしにやらんこと。そういうことが指導のこつではないですかねえ。剣道ではあんまり難しいことは言わずにねえ。それから人の意見をみんな入れること。剣道も心の持ちようひとつです。いやだ、いやだでは面白くない、「わがものと思えば軽し傘の雪」って句があるでしょう。相手が攻めて来たらどうぞとこつちが攻めて、攻めて來たら「なに」ととこうなつちやだめ。どうぞとこつちが攻めて、攻めて來たら「なに」ととこうなつちやだめ。合つちやうから打たれちゃうですよ。こつちは直線だから早いんですけどね。

昔はね、そういう傾向にあつたんを考えてみると、水田先生が本大会に望むまでの体調は決して好調とは思えなかつた。本人自身も「どうも調子が今一步物足りない」といつて、大会前日の稽古においても、もう一本、もう一本と特訓に励んでいる姿を見たときは、その努力に頭が下がる思いがした。

その彼が優勝の栄冠を勝ち得た影には、本人の実力は勿論のこと、粘りのある葉隠れ精神もさることながら、己の体調をよく考えて極めて慎重な試合運びをされたことが、この光栄につながつたのではないかと思つてゐる。

水田先生の試合の流れをみてみる

奮闘してくれた、中学校日本一の水田先生の顔には、幾筋もの快い玉の汗が七色の光に輝きながら滴り落ちていた。

いつもの物静かな先生が、かえつて

愛知のメンツにかけてよく頑張り

と、先ず第一戦は

○水田ココーメ 居町(大阪)

最初、居町選手に「メン」を一本とられたときは、不安な予感がしたがそれをはね返すかのように、たて続けに「コテ」を二本とり次の試合へ



この原稿は昨年七月名鉄ストアー
剣道教室講師研修会での玉利先生の
お話を編集したものです。

教職員剣道大会 中学校日本一の栄冠に水田涉先生

監督 寺澤将美

第二十三回全国教職員剣道大会は

八月十日、秋田県立体育館において

熱戦の火蓋が切つて落とされた。

今年から女子個人試合も新たに加えられて、往年の名選手の姿も多数見受けられ、会場は例年になく盛り上つたムードに包まれていた。

男子の部においても年々レベルが向上し実力伯仲の試合が展開された。

本県選手団も団体、個人試合にと

日頃の実力をよく發揮し善戦よく活躍した。

なかでも、中学校個人優勝戦では見事な試合ぶりで会場を湧かし、しかも鮮かに二本勝ちをおさめた本県代表の水田涉先生(常滑市立青海中学校)には、全員の惜しみない拍手が会場を埋めつくすようになされた。

愛知のメンツにかけてよく頑張り奮闘してくれた、中学校日本一の水田先生の顔には、幾筋もの快い玉の汗が七色の光に輝きながら滴り落ちていた。

いつもの物静かな先生が、かえつ

うでしよう。人間の個性つてものがあるんだから。いろいろなことにぶち当つて失敗して、こういう四角い自分つてものがあるでしょ。それがぶち当つて失敗するとこの中の内接点は丸くなるでしょ。この角を増やすことですよ。そのいい例がでしゃう。藤田東湖がその部屋に行つたら忍堂と書いて忍堂とある。「これはどういう意味ですか」「土佐の主ともなれば、苦しいことは多々あります。自分が忍ぶ…。座右の銘にすら我々だつてそだもんね。昔、あの十銭か十五銭の立川文庫つてい

う。藤田東湖がその部屋に行つたら忍堂と書いて忍堂とある。「これはどういう意味ですか」「土佐の主とお入れになさつたそうですね。土佐の山内容堂という殿様がいたで

すね。あの土佐の西野先生の国ね、接点は丸くなるでしょ。この角を増やすことですよ。そのいい例がでしゃう。藤田東湖がその部屋に行つたら忍堂と書いて忍堂とある。「これ

はぶち当つて失敗するとこの中の内接点は丸くなるでしょ。この角を増やすことですよ。そのいい例がでしゃう。藤田東湖がその部屋に行つたら忍堂と書いて忍堂とある。「これ

はぶち当つて失敗するとこの中の内接点は丸くなるでしょ。この角

隨想

剣道範士八段 榊原正

事業報告抜下さい

昭和二十七・八年頃、私が岡本白
涛先生について書を習っていた頃、
書の本に次のようなことが書いてあ
つた。

「書上達の早道、書のもつ妙味、厳しさも同時に要求されるようになつてきますので、さらに一層基本点画に苦心をはらわなければ、ここで上達への中断がくるのです。」このようにして不意にスランプはやつてくるが、これは道と名のつくものにすべてあるものです、このようなくには、静かに初心にかえつて忠実に手本に従うことこそスランプをぬけ出す一番の方法です。

道範士八段 桶原正

色々なことを覚え間口を広くすることも社会生活に必要かも知れませんが、そのことに死にものぐるいに取り組み、それに徹することのできる人、いわゆる奥行きのある人こそ社会的にも信頼され、必要とされる人になると存じます。その奥行きを求めてきた私も六十才も過ぎ遂に体調を崩し、何もつかめず不安な毎日を過しているのです。しかし崩れた体調の快復の目ぼしもつき、あと三ヶ月、半年先の自分を楽しみにしている今日この頃です。

全国中学校剣道優勝大会県予選会	八月
代表 男子・平坂中学校	
女子・豊川西部中学校	
愛知県夏季少年鍊成大会	
優勝 Aクラス・平坂中学校	
B クラス・矢田小学校	
愛知県国体予選会	
代表 成年・徳丸英俊、福永博文	
北村 豊、寺沢将美、牧	
野 登	

夏季少年錬成大会 優勝 平坂中学校



夏季少年錬成大会
優勝 矢田小学校

3段	2段	初段	段位
ク	太刀 1~7本	太刀 1~5本	形
口地稽古	イ応じ技 (数回)	口地稽古 (相互)	実技
(相互)	(相互)		

要領

要領

<p>16(月) 17(火)</p>	<p>15(日)</p>	<p>8(日)</p>	<p>3(祝)</p>
			於神山小学校 9時
		成田山奉納剣道大会	
	於犬山成田山 9時		
	第14回都道府県選抜剣道選手 権大会		
於名古屋市体育館 9時30分			
尾南・東三河形審査会			
西三河実技審査会			
於各地区			
		★第12回春季少年剣道錬成大会	
		(個人戦)	
	1 期日 昭和57年2月28日(日) 9時		
	2 会場 名鉄体育館		
	3 参加資格 県下の小・中学校在校 (ただし、S57・3卒業生は在校 生とみなす)で引率責任者のある		

卷之三

形審查会要項

8 申込期日 昭和57年2月5日(金)
(申込みと同時に納入すること)
※以上の大会は、全日本剣道連盟試合並びに審判規則による。

3 申込方法
指定の申請用紙に必要事項記入の上、審査料（実技は形合格証）を

十一月 21(日) 第6回明治村創
事業計画 尾張実技審査会
於神山小学校 9時

21 (日)	三月	28 (日)	14 (日)	6 (日)
於明治村	第 6 回明治村剣道大会	春季少年剣道鍊成大会	剣道八段予備審査会	第 29 回全日本剣道選手権大会
10 時		於名鉄体育馆	10 時	於東京
		於名鉄体育馆	9 時	

五団体剣道大会	九月	優勝、愛知県警察
愛知県段別選手権大会		
優勝 初段、黒田 壮 二段、目	22(火)	剣道六・七段審査会
方昭次 三段、隱岐八州秀、四段	於ス。ボーツ会館	10時
川村修三、五段、徳丸英俊	6(日)	剣道四・五段審査会
愛知県女子選手権大会	於名鉄体育館	9時
優勝 小林悦子	十二月	東三河実技審査会
要 領	21(日) 三月	於豊橋武道館 9時
事業計画 及び	28(日) 二月	第29回全日本剣道選手権大会
	14(日)	於東京
剣道八段予備審査会		
於名鉄体育館 10時		
春季少年剣道錬成大会		
於名鉄体育館 9時		
第6回明治村剣道大会	10時	於東京
於明治村		

S57年度事業計画により実施 審査会実施日 申込資格

表彰

5 錄成内容 基本錄成後 學年別試合錄成（各学年別個人戦）

(1) 優秀者に賞状、賞品を贈る。

(2) 参加者全員に参加賞を贈る。

○ 参加料 1人200円

○ (申込みと同時に納入すること)

○ 申込期日 昭和57年2月5日(金)

※以上の大会は、全日本剣道連盟試合並びに審判規則による。

3 申込方法
指定の申請用紙に必要事項記入の上、審査料（実技は形合格証）を添えて所属地区連盟に申込むこと

4 審査料及び登録料

4段	太刀1~7本	地稽古
5段	小太刀1~3本	2~3回

(2) 学科 次の問題に対する解答をB4の用紙に記入し、当日会場に持参すること。

○初段～2段

- (イ)「面打ち」の注意事項を五つ記せ。
(ロ)「間合」を説明せよ。
(ハ)反則についての罰則を記せ。

○三段～五段

- (イ)「抜き胴」の注意事項を五つ記せ。
(ロ)「守破離」を説明せよ。
(ハ)打突の意志なくつばぜり合いが長びく場合の「主審」の処置を記せ。

※形講習は、各地区行事日程により行う。

審査申込時及び審査当日は必ず会員証を持参すること。

五十六年度の尾張地区剣道連盟の剣道発展の方針と、現在迄の行事の状況について述べてみたいと思います。

五十六年度の尾張地区の会長、副会長、理事長、事務局長、等役員については本年は改選の時期でしたが開催して留任に決定しました。

五月二日、評議員以上の役員総会を開催して、役員改選について

二、尾張旭地区剣道連盟の設立について

従来この地区は瀬戸地区に含まれていましたが、地区の自主的な運営による行制が剣道の普及発展の為に大いにのぞまれ、又瀬戸地区的了解も得られたので役員総会で全員一致して尾張旭地区剣道連盟の設立が認められました。

会長 川本 宗男

地区連盟紹介

事務局 渡辺 一男

三、中高等学校の大会への後援

中学校の剣道大会は年間一回の開催でありましたが新しく秋期(新人)大会を開催して中学生の剣道意欲の向上を計ることにした。又中学校、高等学校の大会の第二位入賞チームに、楯をおくつて、広い表彰をすることにした。

四、居合刀(模擬刀)の活用 従来から地区連盟に居合刀(大小一組)を配布して「刀」による剣道形実施して、剣道形の指導、練習等の意志統一及び技術の向上を計ることにした。

以上の四項について協議、決定して五十六年度の推進目標とした。又今年度行事予定のうち九月迄に開催した主たる行事をあげると

一、三地区による合同稽古 従来は西三河地区と尾張地区的参加であったが今年度から尾南地区も含め三地区的合同練習となり、七月

四日に津島市鍊成館で盛大に行つた。前記したように今度から「居合刀」による「剣道形」の練習も含め五月三日小牧市武道館で第一回を開催する。

約百余名が参加して「真刀」で順次繰返して「剣道形」を稽古する、木刀と異つて、真剣に、気迫がこもつた練習であった。又納刀、抜刀、礼式等多くの質問があり、有意義であった。

三、都市別剣道大会 五月二十四日、滝高校体育館で開催した。この大会は尾張部の市及び郡の名前で出場をするが内容は尾張部地区対抗である。本年で第十四回であり、優勝したチームの所属する市又は郡が次の主催地となるという申合せである。江南市が三連勝をしていたが本年は稲沢市の優勝となつた。

四、尾張地区合同練習の開催 稲沢市による「剣道形」の練習も含め当会場で懇親の会を開催して、地区的交流と剣道談議に花を咲かした。来年度は尾南地区の開催を約束する。

二、尾張地区合同練習の開催 前記したように今度から「居合

刀」による「剣道形」の練習も含め五月三日小牧市武道館で第一回を開催することにした。又中学校、高等学校の大会の第二位入賞チームに、楯をおくつて、広い表彰をすることにした。

五、尾張部中学校剣道大会

理事長 谷 鎧吉郎

男子チーム 四十七校 女子チーム 四十五校 が参加して六月七日、一宮市体育館で開催した。

四、尾張部中学校剣道大会

理事長 水野 登

女子の部 第一位 滝高校 第二位 一宮北高校 第三位 尾西高校

蟹江高校

先回東海市剣道連盟を紹介しましたので今回は斎年寺道場剣志会を紹介しましょう。

斎年寺道場剣志会

常滑市大野町は大野海水浴場として知られている町である。

大野城主、佐治家の菩提寺として重要文化財の雪舟筆、達磨大師を持つなど、長い歴史を刻む曹洞宗萬松山(斎年寺)(二十五代目下山文圭住職)同寺創立四五〇年を記念して昭和四年本堂が再建された。

その当時のお寺さんの庭は、子供達のよき遊び場たり場としていつぱいであった、下山住職はこの子達を、もっとよい方向へ導きたいと考え日夜考えた末、心と自体共に鍛える剣道が一番よい方法であると考えたところ、指導者が見当らないので各方面に依頼していた。丁度私は常滑警部派出所に勤務、昭和四年四月定年退職し常滑市の会社に勤めながら常滑高等学校の剣道教師をしていた。

然しこの程度の運動量では、健康を保持することは出来ないと考えていました。昭和五一年範士八段佐藤善記先生昭和五二年教士七段浜田修作先生をお迎えして名実共に指導陣を強化すると共に、名称も斎年寺道場剣志会と改め現在に至っている。昭和四四年以来各種大会に参加優勝すること団

田先生からその話を聞かされお引受けした。昭和四三年四月「大野少年剣道クラブ」の発足となつた。

稻沢市

岩倉

瀬戸

江南

稻沢

岩倉

瀬戸

体個人合戦で八〇余回におよんでいる。全国少年剣道大会には毎年県代表として出場している。

昨年三月二〇日京都弘道館前館長小川政之先生追悼剣道大会に招待を受け小学校の団体戦に出場。(全国から集つた三六チーム) 热戦の末第三位に入賞する等輝かしい成績を残した。然し今後は全国優勝を目指して、強化された指導陣と、少年剣士と、父兄の三者一体となつて目標に向つて邁進続いている斎年寺道場剣志会の皆さんに感謝申し上げたい。

位に入賞する等輝かしい成績を残した。然し今後は全国優勝を目指して、強化された指導陣と、少年剣士と、父兄の三者一体となつて目標に向つて邁進続いている斎年寺道場剣志会の皆さんに感謝申し上げたい。

尚申し遅れましたが指導陣に四段鈴村恒治先生、四段下山文圭(住職)先生、四段桑山忠入先生、三段森田宗晃先生、浜本健彦先生、新美春男先生等も自分の稽古と少年指導に努力していることを附記する。

斎年寺道場剣志会の練習日時は次の通り



昭和53年4月 斎年寺道場剣志会十周年記念剣道大会

毎週日曜日	午前七時～八時 中級 上級
毎週火曜日	午後七時～九時 初級 幼児部
毎週木曜日	午後六時～七時 初級 幼児部
毎週土曜日	午後六時～七時 中級 中級、幼児部
午後八時～九時 上級 特練生	午後六時～七時 中級 中級、幼児部
午後八時～九時 上級 特練生	午後六時～七時 中級 中級、幼児部
午後八時～九時 上級 特練生	午後六時～七時 中級 中級、幼児部
午後八時～九時 上級 特練生	午後六時～七時 中級 中級、幼児部

主な年間行事
一月初旬　けい古始め
一月中旬　寒けい古　一週間
七月下旬　暑中けい古　(早起き会)
参禅実習一週間
七月下旬又八月初旬　キャンプ又は

団体で厳しい交歓練習会となりました。

西三河からの三十名の参加者も、「よかつた。」「充実した内容だった。」と、芦原温泉夜のビールが格別うまかった。あの勇壮な太鼓のひびきがまだ腹の底に残っている芦原の夜。

○第六回尾張尾南西三交歓練習会

「やあ、立派なものだ。他県にもないぞ。」「来てよかつた。鍊成館を見ることが出来ただけでもよかつた。」

「うちの市長に見せてやりたい。」の声ではじまつた交歓練習は、本年から尾南の参加を得て、七月四日津島市鍊成館で午後三時開幕。

津島市がお造りになりました本当にセンスのよい立派な道場で稽古をしました。盟友尾南の仲間入りで本当に嬉しく楽しく思います。

夜の尾張温泉観光ホテル、百余名の会食、生ビールへの行列、味のよさ。楽しい半日でした。第七回尾南さんでの稽古と懇親会が楽しみです。尾張さん本当に御世話になります。

た。

東三河剣道連盟

理事長 鈴木 健一

高等学校剣道界に於いて、全国的に名を馳せた豊橋私立桜丘高等学校では、比の度騎士道精神を身につけた生徒を育てるなどを考え、想えば同校男子部創設以来二十四年、試合場二面とれる武道館を設立され、師範に匹田勝夫先生を迎え、剣道の基礎を体育の正課として採り入れ指導されて来たが、これまでの武道場では手せまになり、今後十分に教育活動の出来る施設をとの考え方で、立派なものだ。他県にもないぞ。」「来てよかつた。鍊成館を見ることが出来ただけでもよかつた。」

西三河からも、三十名の参加者も、「よかつた。」「充実した内容だった。」と、芦原温泉夜のビールが格別うまかった。あの勇壮な太鼓のひびきがまだ腹の底に残っている芦原の夜。

○第六回尾張尾南西三交歓練習会

「やあ、立派なものだ。他県にもないぞ。」「来てよかつた。鍊成館を見ることが出来ただけでもよかつた。」

「うちの市長に見せてやりたい。」の声ではじまつた交歓練習は、本年から尾南の参加を得て、七月四日津島市鍊成館で午後三時開幕。

津島市がお造りになりました本当にセンスのよい立派な道場で稽古をしました。盟友尾南の仲間入りで本当に嬉しく楽しく思います。

夜の尾張温泉観光ホテル、百余名の会食、生ビールへの行列、味のよさ。楽しい半日でした。第七回尾南さんでの稽古と懇親会が楽しみです。尾張さん本当に御世話になります。

た。

蒲郡武道館 近藤 篤弘

蒲郡の剣道といえば、戦前は、蒲郡を中心に、全国を制覇した猛者を輩出し、現在も形原地区等から多くの名選手が、各所で大活躍をしてい

ることは、すでに衆知の通りです。

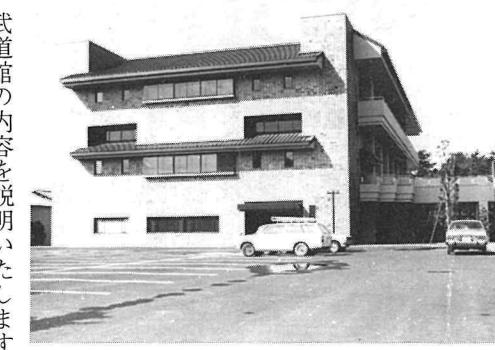
戦後、剣道が占領軍によつて禁じられていましたが、解禁になると同時に、故杉浦貞一先生、竹内道哉

現会長等を中心にして、いちばん少年剣道の指導を始め、昭和四七年には、蒲郡剣道スポーツ少年団を結



お役に立てるものと思っています。」と、学校は勿論のこと、東三河一同の剣道の発展のため、歓喜を覚えると共に、東三河剣道連盟としてあらゆる協力を惜まないものである。

『観の眼』第二号に於いて紹介しました、鳳来町『山びこの丘』の武道館も八月末着工の運びとなり、来春早々には竹刀の響く音も聞えることでしょう。



蒲郡武道館

武道館の内容を説明いたします。総工費 約五億円。
総面積 三六三七・八m²
一階 ○トレーニング室○多目的フロアー○ロッカールーム

二階 ○柔道場・畳三六〇帖敷他



◎第九回武者修業	
中女	一般男子 1
光友会	東レ岡崎
知立	精機A アイシン
上郷	高男 西尾東
甲山	高校女子 西尾東高
	一般女子 岡崎城西
	中男 豊田織機A 豊田織機B
	高男 西尾東
	一般 岩谷健連
	高男 安城東
	一般 鶴城

合宿(野外活動)
八月中旬 全日本少年剣道錬成大会
十月下旬又十一月初旬 第七回水野 杯少年剣道大会
十二月中旬 けい古納め

理事会 阿部 久治

◎第二十八回西三河剣道大会
六月二十九日刈谷市体育館で、恒例の西三河剣道大会挙行。西三河功労者七名の表彰に続き、一般男子37高男21、高校・大学・一般女子22、中男31、中女26の計一二七チーム参加で試合開始、成績は次の表でまとめました。

西三河剣道連盟の年中行事、西三剣連の役員と四段以上の希望者で、毎年楽しみの中に厳しい「武者修業」の精神にみちた行事が、六月二十・二十一日に亘り本年は再び福井県にお世話になりました。西川信義先生の格別な御協力を頂き、この行事の第一回に御世話になりました、なつかしい福井県武道館で、茨城の諸先生方にも出逢い、三

成して、今では、蒲郡地区約百五十名、形原地区約六十名の大組織となり、剣連の会員約七十名は少年剣道の指導と、自己の鍛磨に努めて、蒲郡市内における他の社会体育団体の模範となっています。この実績が認められて、本年一月には、蒲郡市体育館前に武道館が完成し、並行して、昭和五十八年度インターハイの剣道会場として、蒲郡市が決定されました。

西三河剣道連盟

(正規試合場三面ゆつた
り)・観客席二五二席・
ミーティング室四五坪・
師範室三四帖・シャワー
室他

剣道練習日 毎週 月・水・木・土
曜日、夜六時三〇分より八時三
〇分まで。

剣道場正面には、香取、鹿島の神殿を中心にして、大野操一郎九段範士書「洗心」の大額を掲げ、観客席には、ベージュ色のジユウタンを敷きつめて、剣道場としてふさわしい雰囲気があります。また、床下には特殊なウレタンラバーを施し、床面の衝撃を緩和するように工夫され、床板表面には、最新の塗料が素足に良くなじむようにならべられています。更に、天井裏には、多数の大形換気扇が取り付けられていて、熱気を大量に室外に放出できるため、猛暑の時でも快適な稽古ができるのが特徴です。

この立派な剣道場で、一人でも多くの方々に稽古をしていただき、多くの剣士が誕生することを、蒲郡市並びに、蒲郡剣道連盟は望んでいます。是非、ご利用いただき、ご指導ください。

役職名	氏名	所属	〒	住所	自宅TEL	会社TEL
会長	竹田弘太郎	名鉄	452	西春日井郡清洲町清洲530		(052)571-2111
副会長	太田元次	名古屋市会長	454	中川区松年町4-66		(052)652-7711
〃	森田秋男	尾張会長	491	一宮市八幡通り5-1 東海倉庫内	(0586)77-7460	(0586)73-0141
〃	近藤広行	尾南会長	477	東海市養父町横枕46	(0562)32-4141	
〃	山田満寛	西三河会長	445	西尾市若松町	(05635)6-3245	
〃	小川正亮	東三河会長	442	豊川市豊川町仁保通り71	(05338)6-4067	
〃	加美山利弘	警務部長	460	中区三の丸2の1 知知県警察本部		
〃	森田茂	名鉄ストア	488	尾張旭市東大道町原田2672の237		(052)912-0511
〃	杉山孝雄	名鉄	478	知多市八幡田渕1の59	(0562)34-8471	(052)571-2111
相談役	鈴木房吉	範士	440	豊橋市東旭町315	(0532)55-2693	
〃	佐藤善記	〃	467	瑞穂区弥富通5-19マルエムビル1F102号	(052)831-1430	
〃	浅野八郎	〃	451	西区花ノ木3-6-19	(052)521-6703	
〃	近藤利雄	〃	458	緑区ほら貝2-7	(052)876-8864	
〃	加藤万寿一	〃	461	東区出来町3-9-8	(052)711-7629	(052)936-5111
〃	匹田勝夫	〃	440	豊橋市東八町通5-63	(0532)50-1016	
〃	横山定雄	〃	462	北区大杉1-25-4	(052)931-5113	
副理事長	榎原正		463	守山区大森中町大森東住宅17-102	(052)798-0479	(052)915-9716
〃	谷鎌吉郎		491	一宮市西大海道郷東139	(0586)77-3224	
〃	加藤文雄		464	千種区千種3丁目12番3号	(052)732-2351	
地区理事長	谷鎌吉郎	尾張		既出		
〃	水野登	尾南	470-21	知多郡東浦町森岡字上田面141	(05628)3-5698	
〃	加藤信雄	名古屋	453	中村区小鴨町161	(052)411-7295	
〃	阿部久治	西三河	446	安城市上条町山端連50	(0566)74-5645	
〃	鈴木健一	東三河	441-21	南設楽郡鳳来町海老	(05363)5-0026	
理事	山本芳郎	尾張	491	一宮市大志町山本材木店	(0586)73-6523	
〃	伊藤弘之	〃	480-01	丹羽郡扶桑町柏森中町115	(05879)3-2005	
〃	安藤兼一	〃	486	春日井市妙慶町3-33	(0568)31-4488	
〃	日置富士雄	〃	491	一宮市柚木原512-2	(0586)77-0571	
〃	内藤正之助	尾南	474	大府市長草町前屋敷22	(0562)46-1733	
〃	大島登	〃	474	大府市大府町川池下39	(0562)46-0858	
〃	浜田修作	〃	475	半田市雁宿3-210	(0569)22-6300	(0569)23-3351
〃	三輪田薰	名古屋	466	昭和区村雲町15-5	(052)871-3947	
〃	森武生	〃	464	千種区内山3-28-6	(052)731-8101	
〃	水野八郎	〃	454	中川区月島町7-2	(052)351-9876	
〃	市川嘉一	〃	452	西区大野木4-534-3	(052)502-1185	
〃	二村忠男	〃	453	中村区岩塚町九反所55	(052)412-2231	
〃	加藤文雄	〃		既出		
〃	鈴村万亜夫	〃	460	中区上前津1-6-1	(052)321-9338	
〃	前田治雄	〃	468	天白区八事石坂107	(052)831-0178	
〃	松田和夫	〃	464	千種区高見2-9-17	(052)761-1331	(052)551-8111 内234
〃	山本重夫	〃	457	南区楠町66	(052)811-3616	(052)611-2511
〃	伊藤一彦	〃	468	天白区平針川田2482平針原住宅1-107	(052)802-8015	
〃	翁長良明	〃	462	北区福德町18警察宿舎A510	(052)991-7684	
〃	岡本利一	西三河	471	豊田市京町3-50	(0565)31-0879	
〃	田中弥市	〃	444-04	幡豆郡一色町大字対米字船原47	(05637)2-8534	
〃	福田俊雄	〃	472	知立市昭和知立団地67-205	(0566)81-7674	
〃	石川富三郎	〃	444	岡崎市能見町225	(0564)23-3715	
〃	小島九一	〃	448	刈谷市寺横町1-60-5	(0566)24-1127	
〃	坂部未太郎	〃	445	西尾市花ノ木町1	(05635)4-3763	
〃	原由一	東三河	440	豊橋市横須賀町重森1-3	(0532)52-9827	
〃	牧野登	〃	441-01	宝飯郡小坂井町伊奈縫殿26	(05337)8-2721	
〃	山本要之助	〃	440	豊橋市南瓦町	(0532)52-5813	

昭和56.57年度 役員名簿

(愛知県剣道連盟)

中堅は小柄ながら全身これファイトのかたまりの様な徳丸選手(県警)、四将にさすが名門中京大の先生、剣のさばきは天下一品の堀山健治選手(中京大)、三将はこれまた静にして動この言葉がぴったりの牟礼安弘選手(大同特殊鋼)、副将に試合ならこの人とうたわれる梅山修一選手(名鉄ストア)、最後に大将は過去十回

連盟の皆様には平素格別のご指導ご鞭撻を賜わり、厚くお礼申し上げます。道場連盟も現在会員数五十八道場となり、青少年の健全育成につとめているわけでございます。

最近の催事等についてご報告致しまでの、ご協力を賜わりたいと存ります。

一、全道連の巡回指導会

十一月十四日(土曜日)午後三時より齊年寺道場(常滑市)に、阿部三郎範士、中島義貴範士等来館され、講習会が実施されます。

以上今回の五大都市体育大会の結果をご報告し来年はいよいよ地元名古屋市において十連勝を達成するた

めおごることなく初心に返つて精進し実のある練習を繰り返し目標達成に全力を傾到したいとも思います。

名古屋市剣道連盟もこれらを原動力に来るべき都道府県選抜選手権大会にも全力を尽し当連盟ひいては県

連盟の発展にも寄与したいと考えております。

二、全道連に武道館

会員の皆さん募金と、船舶振興会からの寄附等で、東京都杉並区に

九四九m²の土地を購入し、三階建の道場及び宿泊施設が、総工費約三・六億円をかけ、来年中に完成される予定です。

三、夏季少年合宿遠征訓練について

昭和五十七年八月十六日から二十二日までの四泊五日で、船を使って太平洋上で剣道を習いながら、仙台市、山形市に遠征を計画中であります。

今後も格別のご支援の程お願い申

し上げます。

愛知県剣道道場連盟

理事長 前田 治雄

理事長 加藤 信雄

（81）ポートピア神戸市において、第三回五大都市体育大会が行われる剣道

を樹立しました。大阪、京都、横浜、

その部で連続九回優勝の輝かしい記録を樹立しました。大坂、京都、横浜、

を

役職名	氏名	所属	〒	住 所	自宅 TEL	会社 TEL
〃	富田孝夫	東三河	443	蒲郡市形原町西屋敷28-2	(0533)57-2769	
〃	森田茂			既出		
〃	細田錦郎	名鉄ストア	484	犬山市西北野132	(0568)67-0639	(052)915-9716
〃	上北鞠也	三菱重工	462	北区中島富町1-56-1中富住宅E506	(052)914-8301	(052)611-2111
〃	渡並直	トヨタ自工	470-02	西加茂郡三好町大字三好字弥栄88-2	(05613)2-0958	(0565)28-2121
〃	北村豊	東レ名古屋	470-11	豊明市新田町古池16-6	(0562)92-4337	
〃	和田伊功	名鉄百貨店	470-11	豊明市栄町九左山4の132	(0562)97-6517	(052)571-1111
〃	林邦夫	大学関係	470-03	豊田市青木町1-75-6		
〃	青山定男	高体連剣道部長	491	一宮市浅野一本杉7	(0586)77-1498	(05875)6-2127
〃	坂田平七郎	名城高	483	江南市力長261-1	(05875)5-8044	(052)481-7436
〃	小山宗章	北高	486	春日井市白山町174街区あい4	(0568)91-4607	(052)901-0338
〃	熊谷文利	中小体連剣道部長	442	豊川市金屋本町4-26	(05338)6-6713	
〃	寺沢将美	副部長	483	江南市宮後658	(05875)5-1563	
〃	川口錦哉	名刑	462	北区城北新町2-4城北住宅11-54	(052)981-0745	
〃	榎原正	八段		既出		
〃	池内秀夫	〃	466	昭和区北山町3-48	(052)732-5998	
〃	柳田左内	〃	472	知立市昭和2-1知立団地72-101	(0566)81-7833	(0566)52-1200
〃	内藤利男	〃	492	稻沢市稻沢町北山3-24	(0587)32-3896	
〃	秋田森治	居合	453	中村区稻葉地町5-18	(052)412-3650	
〃	濱地光一	杖道	474	大府市横根町古井戸41-88	(0562)46-0340	
〃	久田治郎		466	昭和区妙見町89	(052)832-0709	
〃	舟橋正一		485	小牧市小牧2099-2	(0568)76-2511	
〃	深田正夫	警察	464	千種区本山町1-4	(052)751-5346	
〃	中村薰	〃	486	春日井市神屋654-346	(0668)88-1782	
監事	国松巖		466	昭和区川名山町20	(052)832-1023	
〃	鈴木守治		442	豊川市為当町市木37	(0533)75-3320	

ここに広報「観の眼」第四号をお届け出来ることになりました。ご寄稿いただきました諸先生に誌上を借りて厚くお礼申し上げます。

従来「観の眼」の発刊については、事務局で原稿の収集、編集、校正等実施いたしておりましたが、今回から広報委員会に全面的にご協力いただけました。

基本的に内容についても従来通り、大会の記録を主体と

するのではなく、会員の皆さんの修業の糧となるものであるべきだとの意見の一一致を得ましたのでその方向で進みたいと思います。

連盟もご存知のように来年は連盟結成満三〇周年を迎えます。連盟としても記念事業の計画はなされておりますが、私達が一番大切にしなければならないのは「温古知新」、連盟発足当時の流れはあります、過去を無視した発展は有り得ません。そのため、連盟史を発刊するという目標で、故人の偉業、先輩

の世代に伝えることだと思います。時代の流れはありますが、過去を無視した発展は有り得ません。

そこで、連盟史を発刊する

お届けすることになりました。会員の皆様におかれましては、このことを心に止めさせていただきます。会員の皆様にお寄せ下さるようお願いいたします。「観の眼」の原稿につきましても、同様ご寄稿下さい。

の苦労等記録に残したいと思いまます。会員の皆様におかれましては、このことを心に止めさせていただきます。会員の皆様にお寄せ下さるようお願いいたします。「観の眼」の原稿につきましても、同様ご寄稿下さい。

編集後記

広報委員会
委員長

坂田平七郎

委員

伊藤弘之

細田錦郎

舟橋正一

牧野久治

阿部久治

深田正夫

鈴村万亀夫

田嶋登

鈴木守治

鈴木守治

鈴木守治

広報
「観の眼」
第四号
昭和五十六年十一月一日
愛知県剣道連盟
〒451 名古屋市西区松前町
名鉄体育館内
（052）五六一四八一一